

都市再生整備計画 事後評価シート
戸塚駅周辺地区

平成23年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 神奈川県 | | 市町村名 | 横浜市 | | 地区名 | 戸塚駅周辺地区 | | | 面積 | 約12.1ha | | |
|--------------------------------------|--|-------------------------|-------------------------|--|--|--|-------------------|--|---|----------|--|---|---------|
| 交付期間 | 平成18年度～22年度 | | 事後評価実施時期 | 平成22年度 | | 交付対象事業費 | 17,980百万円 | 国費率 | 0.4 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | | 基幹事業 | | 事業名 | | | | | | | | |
| | | | 提案事業 | | - | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | | 基幹事業 | | 事業名 | | 削除/追加の理由 | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | |
| | | | 提案事業 | | - | | - | | - | | | | |
| | 新たに追加した事業 | | 基幹事業 | | 道路(横浜伊勢原線、市道)、高質空間形成施設、高次都市施設、市街地再開発事業 | | 整備方針実現の為に事業を追加した。 | | 道路(横浜伊勢原線)と市街地再開発事業は数値目標を設定。それ以外は数値目標を据え置く。 | | | | |
| | | 提案事業 | | 公共下水道事業、都市情報提供システム設置、地元支援関連事業、広報・PR事業、国道1号横断デッキ整備事業、柏尾川プロムナード整備検討事業、柏尾川プロムナード整備事業、清源院モール取得事業、憩いの柏尾川づくり事業、文化芸術新興事業、環境への取組活動推進事業 | | 整備方針実現の為に事業を追加した。 | | 公共下水道事業と文化芸術振興事業は数値目標を設定。それ以外は数値目標を据え置く。 | | | | | |
| 交付期間の変更 | | 当初 | 平成18年度～22年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | - | | | | | | |
| | | 変更 | - | | | | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因 | フォローアップ | | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度 | 達成見込み | (総合見) | 予定時期 | | |
| | 指標1 | 駅周辺の放置自転車台数 | 台/日 | 800 | H15 | 0 | H22 | | 100 | △ | あり なし | 市街地再開発事業の第1期工事完成により、目標値には及ばないが、歩行者の安全性や快適性が向上した。 | H23年9月 |
| | 指標2 | 老朽化した木造家屋の棟数 | 棟 | 177 | H5 | 0 | H22 | | 0 | ○ | あり なし | 市街地再開発事業により指標を達成できた。 | - |
| | 指標3 | 自動車移動時間 | 分 | 16 | H11 | 3 | H22 | | 16 | × | あり なし | 道路事業により交通量の円滑化が図られた区間もあるが、区画整理事業のアンダーパス工事の工期延期により、従前の自動車移動経路から大きな変化がない。 | H27年3月 |
| | 指標4 | バリアフリー対応度 | % | 0 | H5 | 100 | H22 | | 50 | △ | あり なし | 市街地再開発事業の第1期工事完成により、目標値には及ばないが、戸塚駅～第1交通広場間のバリアフリー化は達成した。 | H25年4月 |
| | 指標5 | 水洗化及び浸水対策 | ha | 0 | H17 | 4.3 | H22 | | 3.3 | △ | あり なし | 公共下水道事業の第1期工事完了により、目標値には及ばないが、浸水被害の軽減につながった。 | H23年12月 |
| 指標6 | 柏尾川周辺での文化芸術活動実施回数 | 回/年 | 2 | H18 | 3 | H22 | | 4 | ○ | あり なし | 「戸塚っ子いきいきアートフェスティバル」の開催が定着し、文化芸術活動が活性化された。 | - | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因 | フォローアップ | | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度※1 | 達成見込み | (総合見) | 予定時期 | | |
| | その他の数値指標1 | 戸塚駅～バスセンターまでの距離 | m | 300 | H18 | | | | | | 市街地再開発事業により、交通結節機能の強化が図られた。 | - | |
| | その他の数値指標2 | | | | | | | | | | | | |
| その他の数値指標3 | | | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | 第1交通広場と共同ビル棟の整備により、戸塚駅～バスセンターまでの移動が雨に濡れずに移動出来る様になり便利になった。また約600台の駐車場を共同ビル棟に整備した事により、駅周辺へ自家用車が訪れやすくなった。さらに、商業施設の整備とあわせて戸塚駅東西が連絡された事により、新たな回遊性やまちの賑わいの創出などに効果があった。 | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | | | | | |
| | モニタリング | なし | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | | | | | | | |
| | | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | | | | | | | |
| | | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | | | |
| 住民参加プロセス | 1. 戸塚駅周辺整備デザインの考え方について市民意見を募集 2. 公益棟施設整備について市民説明会を開催 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | 1. 市民意見を取入れた「デザイン基本方針」をもとに、第2期工事の建築物・道路等の設計・建設にも反映させる。 | | | | | | | |
| | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | ● 2. 頂いた要望・意見について戸塚区役所HPIにて見解を公開。対応できる内容は今後の公益棟施設整備に取り入れていく。 | | | | | | | |
| | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | | | | |
| 持続的なまちづくり体制の構築 | 1. 共同ビル棟入居者主体による商店会の設立 2. 整備した道路等の市民による自主的な清掃活動を行う組織の設立 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | 1. 商店会は、ビル入居者による主体的な活動に任せる。 | | | | | | | |
| | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | ● 2. 清掃活動を行なう組織について、活動に必要なアドバイスや支援を行なっていく。 | | | | | | | |
| | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | | | | |

様式2-2 地区の概要

| 戸塚駅周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画の成果概要 | | | | | | |
|---|--|-------------------|---------|---------|---------|---------|
| まちづくりの目標 | | 目標を定量化する指標 | | 従前値 | 目標値 | 評価値 |
| 都市再生緊急整備地域に指定されている「戸塚駅周辺地域」内の地区として、既存市街地の再構築により、交通結節機能を強化しつつ、横浜市の副都心にふさわしい高質でバランスのとれた拠点を形成する。 | | 駅周辺の放置自転車台数 | 単位: 台/日 | 800 H15 | 0 H22 | 100 H22 |
| | | 老朽化した木造家屋の棟数 | 単位: 棟 | 177 H5 | 0 H22 | 0 H22 |
| | | 自動車移動時間 | 単位: 分 | 16 H11 | 3 H22 | 16 H22 |
| | | バリアフリー対応度 | 単位: % | 0 H5 | 100 H22 | 50 H22 |
| | | 水洗化及び浸水対策 | 単位: ha | 0 H17 | 4.3 H22 | 3.3 H22 |
| | | 柏尾川周辺での文化芸術活動実施回数 | 単位: 回/年 | 2 H18 | 3 H22 | 4 H22 |

| | |
|--|----------------------------|
| | 戸塚駅西口第1地区 第二種市街地再開発事業区域 |
| | 戸塚駅前地区中央 土地区画整理事業区域 |
| | 都市再生整備計画区域 |
| | 都市再生緊急整備地域 |

| | |
|---------------------|--|
| まちの課題の変化 | <ul style="list-style-type: none"> バスとタクシー乗り場の拠点となる第1交通広場が完成したが、都市基盤の脆弱性の解消のため、第2期工事で道路等の都市基盤整備を引き続き推進する必要がある。 再開発事業区域内の従前建物の解体は全て実施され、従後の建物として共同ビルと個別活用ゾーンが竣工して建物の不燃化が図られ、防災上の課題は克服された。 共同ビルではトツカーナ商店会が設立、個別活用ゾーンでは戸塚バルソ振興会が設立され、新しい商業コミュニティの再生が進められている。また、戸塚駅～第1交通広場間ではバリアフリー動線が整備されて歩行者空間の充実が図られた。今後は、戸塚駅から周辺地区へのバリアフリー化を向上させ、快適な歩行者ネットワークを確保する必要がある。 「戸塚駅周辺地区デザイン基本方針」を作成し、この方針に沿って再開発事業の第1期工事が進められた。魅力的な駅周辺環境・景観の創造のため、引き続き第2期工事も「戸塚駅周辺地区デザイン基本方針」に沿って推進する必要がある。 子供達を中心とした文化祭「戸塚っ子いきいきアートフェスティバル」の開催が定着した。今後文化芸術活動をより活性化させるため、文化芸術活動の拠点整備を推進する必要がある。 |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | <ul style="list-style-type: none"> 整備した柏尾川プロムナードで、区民との協働による憩いの場づくり等の協力的まちづくりを推進する。 戸塚駅東西の一体化を目指した道路ネットワークを形成し、必要な駐車場や駐輪場の整備誘導等の都市基盤の整備を図る。 歩行者動線のバリアフリー化を向上させ、駅周辺の一体化、駅利用者の利便性・回遊性の向上等を図り、交通機能の集積する鉄道駅周辺の地区として相応しい整備を行なう。 人に優しくアメニティ豊かな都市空間の創出を図る。また、地域資源である柏尾川を生かした魅力的な駅周辺環境・景観の創造を行う。 商業地としての歩行者空間や広場など魅力的な整備を進め、かつ、市民文化活動の拠点を形成することで地域を活性化し、街として一体的な魅力を創造する。 |

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
戸塚駅周辺地区

平成27年5月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 | | | |
|-----|-------------------|-----|-----|------|----------|-----------|------------|---------------|----------|----------------|------------------------------------|---------|------|-------------------------------|---|---|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | | | | |
| 指標1 | 駅周辺の放置自転車台数 | 台/日 | 800 | 0 | 100 | 確定 見込み | ● ● | △ | あり なし | ● ● | 382 | H25年11月 | △ | 違法駐輪はモラルの問題もあるため、0台は難しい目標だった。 | <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 駐輪場を地区内に4400台整備し、待機者数は減ったため、一定の効果はあった。 |
| 指標2 | 老朽化した木造家屋の棟数 | 棟 | 177 | 0 | 0 | 確定 見込み | ● ● | ○ | あり なし | ● ● | / | H 年 月 | / | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 木造建築の解体は終了し、13棟の耐火建築物のみとなった。 |
| 指標3 | 自動車移動時間 | 分 | 16 | 3 | 16 | 確定 見込み | ● ● | × | あり なし | ● ● | 4 | H27年3月 | △ | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 目標値には到達しなかったが、移動時間が大幅に短縮され、道路交通機能が強化されたのでは目標が達成された。 |
| 指標4 | バリアフリー対応度 | % | 0 | 100 | 50 | 確定 見込み | ● ● | △ | あり なし | ● ● | 100 | H25年4月 | ○ | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 第2期までかかったが、地区内の歩行者経路はすべて、エレベーターと誘導ブロックが設置された。 |
| 指標5 | 水洗化及び浸水対策 | ha | 0 | 4.3 | 3.3 | 確定 見込み | ● ● | △ | あり なし | ● ● | 4.3 | H23年12月 | ○ | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 第2期までかかったが、地区内全ての下水道整備が終了した。 |
| 指標6 | 柏尾川周辺での文化芸術活動実施回数 | 回/年 | 2 | 3 | 4 | 確定 見込み | ● ● | ○ | あり なし | ● ● | / | H 年 月 | / | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 子供を中心とした文化祭が定着し、文化芸術活動の開催回数が増加している。 |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 | | | |
|-----------|-----------------|-----|-----|------|----------|-----------|------------|---------------|------|----------------|------------------------------------|---------|------|---|--|---------------------------------|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | | | | |
| その他の数値指標1 | 戸塚駅～バスセンターまでの距離 | m | 300 | / | 100 | 確定 見込み | ● ● | / | / | / | / | H 年 月 | / | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 地区内の整備により、バリアフリー対応の短い距離の移動となった。 |
| その他の数値指標2 | / | / | / | / | / | 確定 見込み | ● ● | / | / | / | / | H 年 月 | / | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | / |
| その他の数値指標3 | / | / | / | / | / | 確定 見込み | ● ● | / | / | / | / | H 年 月 | / | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | / |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

| 事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項) | | 実施した具体的な内容 | 実施した結果 | 今後の課題 その他特記事項 |
|--|------------------|---|---|--|
| ・成果を持続させるために行う方策 | 協調的まちづくりの推進 | 西口の商業施設が完成後、駅の東西でイベントを同時開催するなど、一部で協同した商業活動を実施。 | 駅周辺の商業施設が一体となったイベントを定期的開催しており、一体的なまちづくりが推進されている。 | イベントの開催を今後も継続的に実施する必要がある。 |
| | | | | |
| 改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 | 都市基盤の脆弱性の解消 | 地区内の道路整備(戸塚駅前線の開通、駅前バス降車場整備) 第2自転車駐車場整備、第2交通広場整備 地区外の道路接続部の整備 | 地区内における都市基盤の脆弱性は解消されており、道路交通機能が強化されている。 | なし |
| | 歩行者ネットワークの一体化 | 地区内の道路整備の完了 公益施設へのデッキ及び地下横断施設の接続 地区外区画整理事業のデッキと接続 | 公益施設へのデッキ及び地下横断施設の接続、地区外区画整理事業の大踏切デッキと接続したことで、一体的な歩行者ネットワークを形成している。 | 良好な施設の維持管理を行い、歩行者ネットワークを良好な環境に保つ必要がある。 |
| | 魅力的な都市環境・都市景観の創造 | ポケットパークの整備 デザインルールに則り、公益施設を建設 | 戸塚の地域性や歴史性に基づくデザインにより、地区内に統一的で魅力的な都市景観を生み出すことができた。 | なし |
| | 商業拠点及び文化活動拠点の形成 | 区民文化センター、区民利用施設の整備 | 市民の方々の文化活動拠点等として、区民文化センターや区民利用施設が利用されており、好評を博している。 | PFI事業により、運営されている施設であるため、市民の要望等には柔軟に対応が可能である。 |

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

| 追加が考えられる今後のまちづくり方策 | 具体的内容 | 実施時期 | 実施にあたっての課題 その他特記事項 |
|--------------------|-------|------|--------------------|
| なし | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

都市再生整備計画(第6回変更)

とつかえきしゅうへん
戸塚駅周辺地区

かながわけん よこはまし
神奈川県 横浜市

平成22年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | | | | |
|-------|------|------|-------|-----|---------|-------|-------|-------|----|
| 都道府県名 | 神奈川県 | 市町村名 | 横浜市 | 地区名 | 戸塚駅周辺地区 | 面積 | 約12.1 | ha | |
| 計画期間 | 平成 6 | 年度 ~ | 平成 24 | 年度 | 交付期間 | 平成 18 | 年度 ~ | 平成 22 | 年度 |

目標

都市再生緊急整備地域に指定されている「戸塚駅周辺地域」内の地区として、既成市街地の再構築により、交通結節機能を強化しつつ、横浜市の副都心にふさわしい高質でバランスのとれた拠点を形成する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

横浜市の副都心である戸塚は、江戸時代から旧東海道の宿場町として発展してきた歴史ある街で、史跡、社寺、昔からの屋号などに、その名残を見ることができます。昭和30年代には、工場等の進出や周辺の宅地開発が進み、駅を中心に商業地として発展してきました。

しかし、駅周辺の道路は狭く、密集した木造家屋の老朽化も目立ち、防災上の課題を抱えています。また、唯一の幹線道路である国道1号は、JR東海道線を横切る通称「開かずの踏み切り」が地区の東西の連絡を阻害しています。このような状況を打開するため、柏尾戸塚線(国道1号)等の幹線道路、駅東西の交通広場等の公共施設の整備を目的に、昭和37年に「戸塚駅前地区土地区画整理事業」施行区域(面積約21.8ha)の都市計画決定を行いました。しかし、土地区画整理事業は、地元の反対などから進展しないため、駅前広場等市民ニーズが高い公共施設の整備について、施行区域の一部を土地区画整理事業から市街地再開発事業(戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業(面積約4.3ha))に事業手法を切り替えて整備していくこととしています。また、踏み切りにより東西に分断されている地区の構造的課題解消のため、施行区域の一部の土地区画整理事業(戸塚駅前地区中央土地区画整理事業(面積約6.8ha))を進めていくこととしています。

課題

- ・駅前周辺の交通広場や道路等の都市基盤の脆弱。
- ・密集した木造家屋の老朽化による防災上の課題
- ・鉄道で分断された戸塚駅周辺における商業機能、歩行者ネットワークの一体化
- ・地域資源である柏尾川を活かした魅力的な駅周辺環境・景観の創造
- ・特色あるまちづくりの一環としての文化芸術活動の活性化

将来ビジョン(中長期)

- 1 戸塚駅周辺の一体性の強化
- 2 商業拠点形成と協調的まちづくりの推進
- 3 道路交通基盤の整備
- 4 魅力的な都市環境・都市景観の創造
- 5 旧東海道である国道1号線において、にぎわいのある路線商業空間を確保する都市開発事業の促進

目標を定量化する指標

| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | | 目標値 | |
|-------------------|-----|--|---|------|--------|-------|--------|
| | | | | | 基準年度 | | 目標年度 |
| 駅周辺の放置自転車台数 | 台/日 | 現況の駅周辺の放置自転車台数 | 駐輪場を整備し、放置自転車やバイクが減少することにより、歩行者空間の安全性や快適性が確保できる。 | 800台 | 平成15年度 | 0台 | 平成22年度 |
| 老朽化した木造家屋の棟数 | 棟 | 現況の老朽化した木造家屋の棟数 | 西口駅前の市街地再開発事業区域内の老朽化した木造家屋を減らすことで、街の防災性が向上する。 | 177棟 | 平成5年度 | 0棟 | 平成22年度 |
| 自動車移動時間 | 分 | 吉田大橋から矢沢IC(横浜新道)間【距離1.17km】の自動車移動時間(14600台/日(12h)) | 自動車の移動時間が短縮され、道路交通機能が向上する。 | 16分 | 平成11年度 | 3分 | 平成22年度 |
| バリアフリー対応度 | % | 地区内のバリアフリー化の度合いを把握 | 駅から交通広場や駅から周辺地区への歩行者動線のバリアフリー化を向上させ、快適な歩行者ネットワークを確保する。 | 0% | 平成5年度 | 100% | 平成22年度 |
| 水洗化及び浸水対策 | ha | 地区内の水洗化告示区域を把握 | 地区内の公共下水道を整備し、水洗化及び浸水被害の軽減を図る。(時間降雨50mm対応) | 0ha | 平成17年度 | 4.3ha | 平成22年度 |
| 柏尾川周辺での文化芸術活動実施回数 | 回/年 | 柏尾川の河川敷及びその周辺における、文化芸術活動の実施数 | 柏尾川周辺で文化芸術活動が行われることにより、柏尾川自体の活用が図られるとともに、文化芸術を活かしたまちづくりが促進される | 2回 | 平成18年度 | 3回 | 平成22年度 |

<都市再生整備計画の目標及び計画期間>

※本シートを都市再生整備計画につける必要はない

都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|--|--|
| <p>1 戸塚駅周辺の一体性の強化 : 柏尾戸塚線を中心とした都市基盤整備等により、駅周辺の一体化、駅利用者の利便性・回遊性の向上等を図り、横浜市の副都心に相応しい拠点とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 戸塚駅西口第1地区第二種【市街地再開発事業】 ● 横浜伊勢原線(戸塚地区)【道路】 ● 公共下水道事業【地域創造支援事業】 ● 地元支援関連事業【地域創造支援事業】 ● 広報・PR事業【地域創造支援事業】 ● 柏尾川プロムナード整備検討事業【地域創造支援事業】 ● 柏尾川プロムナード整備事業【地域創造支援事業】 ● 清源院モール取得事業【地域創造支援事業】 |
| <p>2 商業拠点形成と協調的まちづくりの推進 : 都市基盤整備を図るとともに、商業地としての歩行者空間や広場など魅力的な空間整備をすすめ、地区を活性化し、また、協調的な街づくりをすすめ、街として一体的な魅力を創造する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 戸塚駅西口第1地区第二種【市街地再開発事業】 ● 都市情報提供システム設置【地域創造支援事業】 ● 地元支援関連事業【地域創造支援事業】 ● 広報・PR事業【地域創造支援事業】 ● 文化芸術振興事業【まちづくり活動推進事業】 ● 清源院モール取得事業【地域創造支援事業】 |
| <p>3 道路交通基盤施設の整備 : 都市活動の広域化や活性化に対応するため、戸塚駅東西の一体化を目指した道路ネットワークを形成しながら、都市計画道路の整備や現道の改良をすすめる。又、必要な駐車場や駐輪場についても整備誘導を図る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 戸塚駅西口第1地区第二種【市街地再開発事業】 ● 地元支援関連事業【地域創造支援事業】 ● 広報・PR事業【地域創造支援事業】 ● 市道戸塚第178・179・180号線【道路】 |
| <p>4 魅力的な都市環境・都市景観の創造 : 広場やプロムナードなどの歩行者空間を整備し、高齢者や身体障害者など生活弱者にも配慮した人に優しくアメニティ豊かな都市空間を創出を図る。また、柏尾川河川敷及びその周辺への区民との協働により地域資源ある柏尾川を活かした魅力的な駅周辺環境・景観の創造を行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 戸塚駅西口第1地区第二種【市街地再開発事業】 ● 戸塚駅西口第1地区【高質空間形成施設】 ● 地元支援関連事業【地域創造支援事業】 ● 広報・PR事業【地域創造支援事業】 ● 国道1号横断デッキ整備事業【地域支援創造事業】 ● 柏尾川プロムナード整備検討事業【地域創造支援事業】 ● 柏尾川プロムナード整備事業【地域創造支援事業】 ● 憩いの柏尾川づくり事業【まちづくり活動推進事業】 ● 環境への取組活動推進事業【まちづくり活動推進事業】 ● 清源院モール取得事業【地域創造支援事業】 |
| <p>5 旧東海道である国道1号線において、にぎわいのある路線商業空間を確保する都市開発事業の促進 : 市民との協働を図りながら地域資源を活かした街路空間を形成するとともに、地域生活産業などの機能を集積し、にぎわいのある商業空間を創出する街づくりを推進する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 戸塚駅西口第1地区第二種【市街地再開発事業】 ● 地元支援関連事業【地域創造支援事業】 ● 広報・PR事業【地域創造支援事業】 |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 戸塚駅前地区中央土地区画整理事業(都市再生) ● 市街地再開発事業(道路特別会計) ● 市街地再開発事業(保留床処分金) ● 市街地再開発事業(一般会計) ● 市街地再開発事業(その他) | |

